

## 平成29年度 学校教育担当部長の目標宣言

部長メッセージ		教育部 学校教育担当部長 大高 敏夫
<p>本市の教育の基本理念である「人がつながり 未来を拓く 学びあうまち伊勢原」を目標に、学校教育の振興に努めます。教育委員会では、一人ひとりの子どもの健やかな成長を支えていくために、学校と家庭と地域、さらに各関係機関が相互に連携・協力することを支援し、児童生徒に知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育成するための事業を推進します。各課事業の推進にあたりましては、学校と密に連絡を取り合い、情報の収集と整理を的確に行い、関係各課と連携を図りながら、学校の教育活動が充実するよう取り組みます。</p>		
部の主な役割	部を構成する課等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育の総合的企画及び調整</li> <li>・教職員の人事、教職員の研修、教育に係る研究</li> <li>・学習指導、児童生徒指導</li> <li>・教育相談、適応指導、特別支援教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育課</li> <li>・教育指導課</li> <li>・教育センター</li> </ul>	

部の取組方針	
1	<p><b>【健康な食生活をめざした食育を推進します】</b></p> <p>食に関する正しい知識を身に付け、望ましい食習慣の形成に結び付けるとともに、小学校給食における地場食材の使用、中学生への思春期栄養改善事業など、計画的に食育を推進します。また、市内中学校における給食の導入に向け、学校現場での課題等を整理し、様々な手法の検討をします。</p>
2	<p><b>【学習指導体制を充実します】</b></p> <p>小中学校に指導補助員を、特別支援学級に児童生徒を支援するための介助員を配置します。また通級指導教室「まなびの教室」「ことばの教室」の円滑な運営、非常勤講師を配置し、少人数授業及び小学校教科担当制の推進に取り組み、個に応じたきめ細やかな学習指導、生活指導の充実に努めます。</p>
3	<p><b>【教育相談体制の充実と家庭への支援を図ります】</b></p> <p>スクールカウンセラー(SC)を小中学校に配置し、学習面・生活面等の相談に応じ、児童生徒が意欲をもち安心して過ごせる学校づくりをめざします。またスクールソーシャルワーカー(SSW)を教育センターに配置し、家庭の問題などの福祉的アプローチを必要とする課題の解決を図ります。</p>

具体的な取組と達成目標				進捗状況 達成状況
NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	
1	健康な食生活をめざした食育の推進 (学校教育課)	児童生徒に対し、栄養バランスのとれた食生活を促し、望ましい食習慣を形成するよう、発達の段階に応じた食育を推進します。また、市内中学校における給食導入に向け、様々な手法を検討します。	・地場産物を生産者から直接納入して使用する学校数 小学校 10校 ・食に関する授業および骨密度測定を実施する学校数 中学校 4校	
2	学習指導体制の充実 (教育指導課)	小学校低学年における35人学級編制への対応などや、基本的な生活習慣の定着、学力の向上を図るため、非常勤講師及び指導補助員を継続して配置します。	・小学校 非常勤講師 2人 指導補助員11人 ・中学校 指導補助員 5人	
3	教育相談体制の充実 (教育センター)	スクールカウンセラー及び教育相談員の配置により、支援を必要とする児童生徒や保護者の相談に応じます。また、児童生徒への支援のために、学校との連携を図ります。	・小学校スクールカウンセラーによる相談回数 2,400回	